

## 「すてきな女性になるために」



三和町企画財政課

主幹 高橋 和子

6月9日、いつものように早起きをし、掃除、洗濯を早々と終わらせてテレビに向かいました。国民の祝行事である皇太子様・雅子様のご成婚の儀が執り行なわれたのです。この日の雅子様は、大変美しくこれまで以上に輝いており、沿道に立つ人々に蔓延の笑みで答えていらっしゃいました。私の目には、まさに決断のあとの夢と希望に満ちた「すてきな女性」と映り、この日はテレビに引き付けました。

友人の1人に、最近自分でビジネスを始め、夢を持って日夜頑張っている女性がいます。彼女は子供が3人おり、育児・家事・ビジネスと他人が見れば同情したくなるような忙しさですが、それをいとも簡単にやってのけ、毎日がとても充実していることを、目を輝かせて話してくれます。やはり、彼女もとても生き生きとしてすてきな女性です。

数年前、職場の先輩方と共に、市町村共済組合主催のドクトル・チエコ先生による婦人講座が開催され、受講した時の事です。テーマは「働く婦人の健康」だったように記憶しています。先生の時折ユーモアを交えた巧みな話術に陶酔したかのように聞き入り、終始直立不動で延々と3時間半の講話に只々脱帽でした。以来、先生は私の尊敬する「すてきな女性」の1人です。

ドクトル先生のお話によりますと、女性が健康で美しくあるためには、

1. 大豆類などの良質タンパク質やビタミン類を多くとるよう心掛け、常に食事に気をつかうこと。栄養のバランスが大切なのです。

2. いつも恋心を持っていること。これは人間として自然のことであり、そうすることによって女性ホルモンの分泌を促し、体全体の調子が良くなるのです。相手はご主人様でよいでしょうし、今さらと思う方は憧れのスターでもよいでしょう。自然に心が豊かになり、表情が明るくなって好感度アップです。

というお話でした。今、まさに皇太子妃雅子様美しいのがうなずけます。

以上、3人の「すてきな女性」をご紹介いたしました。彼女たちに共通していることは、夢もち続けて生きていることです。そして、その裏側では、大変な努力がありますが、それを苦と思わない事ようです。

つい現実に流されてしまいがちな生活の中で、少しでも「すてきな女性」に近づけるよう、彼女たちの生き方は、私の手本として脳裏に収めています。そして、過日の雅子様のお言葉を借れば、「生涯悔いのない人生」を送れるよう、日々大切に過ごして行きたいと考えています。

最後に、まだ、ドクトル・チエコ先生の婦人講座を受講されていない方、一度受講されると良いと思います。より一層すてきな女性になるためのヒントを必ず与えてくれることでしょう。

**【新着資料案内】**



**【新着資料案内】**

この資料は、平成5年7月中に行政情報センター・統計資料コーナーに到着した主なものです。ご利用下さい。  
 行政情報センター 本庁舎地下1階 TEL 0292-21-8111(内線2238・2239)

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
<b>中央省庁関係</b>		<b>県内市町村関係</b>	
交通安全白書 平成5年版	総務庁	福祉ハンドブック 1993	社会福祉課
国勢調査報告 平成2年第7巻 その1	"	社会福祉施設等一覧 平成5年4月1日現在	"
消費者物価指数 基準改定資料集	"	中小企業経営指標、茨城県 平成3年度調査	経営助成課
労働力調査年報 平成4年	"	中小企業経営指標、茨城県 平成4年度調査	"
行政の管理と総合調整 平成4年版	"	水産業協同組合要覧 平成3年度	漁政課
住民基本台帳人口移動報告年報 平成4年	"	県議会定例会会議録 平成5年第2回	議会事務局議事課
推計人口 平成4年10月1日現在	"	<b>都道府県関係</b>	
統計情報インデックス 1993	"	行政情報目録 平成5年5月末現在	水戸市
公害紛争処理白書 平成4年版	公害等調整委員会	環境測定結果集 1992年度	日立市
事業の再構築を図る 日本企業	経済企画庁	環たちおた統計 平成5年版	常陸太田市
世界経済白書 平成4年版	"	統計きたいばらき 平成5年版	北茨城市
湖沼調査報告書 第4回 関東版	環境庁	第3次笠間市総合開発計画	笠間市
環境白書 総説、各論 平成5年版	"	統計つくば 1993	つくば市
首都圏白書 平成4年版	国土庁	美野里町勢要覧 '93	美野里町
土地白書 平成5年版	"	大子町史 通史編 下巻	大子町
防災白書 平成5年版	"	第3次鉾田町総合計画	鉾田町
老人保健施設調査老人保健施設報告 平成3年	厚生省	谷和原村勢要覧	谷和原村
農業白書 附属統計表 平成4年度	農林水産省	<b>都道府県関係</b>	
農山漁村地域活性化要因調査報告書	"	宮城県の人口動態 平成4年	宮城県
豚生産構造調査報告書 平成4年	"	秋田県の商業(一般飲食店) 平成4年	秋田県
木材流通構造調査報告書 平成3年	"	群馬県統計年鑑 第39回 平成5年刊行	群馬県
農林水産省統計表 第68次 平成3~4年	"	群馬県移動人口調査結果(年報) 平成4年	"
農業・食料関連産業の経済計算 平成3年度	関東農政局	統計からみた埼玉県の地位 平成4年	埼玉県
農山漁村地域活性化要因調査結果、茨城県	"	埼玉県の商業(一般飲食店) 平成4年	"
通商白書 平成5年版 総論、各論	通商産業省	東京都鉱工業指数年報 平成4年	東京都
化学工業統計年報 平成4年	"	賃金、労働時間及び雇用の動き 平成4年	新潟県
紙・パルプ統計年報 平成4年	"	新潟県の人口移動 平成4年	"
機械統計年報 平成4年	"	愛知の商業(一般飲食店) 平成4年	愛知県
ゴム製品統計年報 平成4年	"	統計でみる京都のあゆみ 平成5年	京都府
砕石統計年報 平成4年	"	京都府の商業(一般飲食店) 平成4年	"
雑貨統計年報 平成4年	"	京都府統計書 平成3年	"
繊維統計年報 平成4年	"	岐阜県経済と県民生活 平成4年版	岐阜県
鉄鋼統計年報 平成4年	"	商業統計調査報告書(一般飲食店) 平成4年	静岡県
生コンクリート統計年報 平成4年	"	静岡県毎月勤労統計調査年報 平成4年	"
プラスチック製品統計年報 平成4年	"	大阪府政要覧 1993年刊	大阪府
窯業・建材統計年報 平成4年	"	統計からみた大阪のすがた 平成4年度版	"
貿易業態統計表 平成4年	"	和歌山県統計年鑑 平成5年刊行	和歌山県
工業統計表 平成3年 産業編、品目編	"	商業統計調査結果報告書 平成4年	島根県
中小企業白書 平成5年版	中小企業庁	商業統計調査結果報告 平成4年	広島県
中小企業施策総覧 本編 平成5年度版	"	山口県人口移動統計調査結果報告書 平成4年	山口県
海上保安白書 平成4年版	海上保安庁	香川県統計年鑑 1993	香川県
労働白書 平成5年版	労働省	香川県の商業(一般飲食店) 平成4年	"
賃金構造基本統計調査報告 平成3年 第1巻~第4巻	"	愛媛県統計年鑑 第42回 平成5年刊行	愛媛県
<b>茨城県関係</b>		愛媛のすがた '93	"
ライフプランに関する調査報告書	職員課	統計からみた愛媛県の地位 平成4年度版	"
組替予算概要説明書 平成5年度(1)	財政課	高知県の商業(一般飲食店) 平成4年	高知県
県議会定例会議案 平成5年第2回(1)	"	熊本県勢要覧 平成4年版	熊本県
県議会定例会議案概要 平成5年第2回(3)	"	大分県の商業(一般飲食店) 平成4年	大分県
予算に関する説明書 平成5年度(2)	"	<b>会社・公社・団体等関係</b>	
騒音・振動・悪臭規制等一覧	公害対策課	地方財政統計年報 平成5年版	地方財務協会
土地利用動向調査 平成4年度	土地利用対策課	漁民の活動とその風俗 1	神奈川大学
県民生活地域調査報告書 平成3年	統計	勝田市の経済動態 No28 1993年版	勝田商工会議所

# 経 済 動 向

## 国内の動き

### ● 都道府県税収、17年ぶり減少

92年度の都道府県税収が17年ぶりに前年度の実績を割り込み、最終的には前年度比7.4%減の14兆7千億円程度にとどまる見通しとなった。企業収益の低迷を背景に主力の法人事業税が落ち込んでいるため、当初見積もり額と比べた税収不足は過去最大の8千億円以上にのぼる。

大幅な税収不足に対し、各自治体は国の赤字国債に当た

る減収補てん債(地方債)の発行や、剰余金を積み立てる財政調整基金の取り崩しなどで財源を補った。しかし93年度の地方税収全体でも当初見積もり額の34兆5千5百億円を確保するのは難しく、財政事情の悪化が避けられない情勢だ。(7月14日付 日経)

### ● 百貨店売上高8.9%減

日本百貨店協会が発表した6月の全国百貨店(116社、268店)売上高は約6849億円で、前年同月比8.9%減少した。減少幅は93年3月の8.8%を上回り、同協会が現行方式で統計を取り始めた65年以降最大となった。

商品別に見ると、食料品、雑貨、衣料品の売り上げ減少が全体の足を引っ張った。売り上げ全体の約4割を占める

衣料品は前年同月比8.5%減。

地区別では東京、大阪など売上高の6割近くを占める6大都市合計が同10.3%減。比較的堅調に推移していた地方都市の百貨店でも同6.6%減と、65年以降最大の落ち込み幅。6大都市とそれ以外のすべての地区で売り上げがマイナスになった。(7月27日付 日経)

### ● 宅地開発の負担軽減

建設省は、宅地供給を促進するため、全国の地方自治体に対し開発会社などに求めている施設整備負担を軽減するよう指導に乗り出した。宅地供給の長期低迷に加え、地価下落や景気低迷で開発会社が大規模開発に慎重になっていることに対応した。具体的には、自治体が開発者に対して公共用地・寄付金の提供など過大な負担を求めることの多

い宅地開発指導要綱の行き過ぎ是正を目指す。こうした負担は開発地域における公共施設の整備に寄与している面もあるが、不必要な負担を迫るケースが多く、民間の開発意欲の減退や住宅価格の上昇を招くとの批判が強い。建設省の指導を受け、自治体の中には要綱見直しに取り組む動きもでている。(7月15日付 日経)

## 県内の動き

### ● 「映像都市」事業化へ

茨城県伊奈町と取手市に“映像ソフト製作都市”を建設する映像未来都市事業化計画が実現へ向けて動き始めた。

映像未来都市構想は放送衛星(BS)や通信衛星(CS)による放送のほか、CATV(有線テレビ)、ハイビジョン、マルチメディアなどが本格的に普及する将来をにらみ、88年から通産省と県が検討を進めてきた。

伊奈町には260ヘクタールのソフト製作複合都市を計画。

最新鋭の施設・設備を持つ映像スタジオを整備するほか、世界に通用する人材を育成するための映像大学を設置する。

取手市には大空間を生かして映像を発表する全天候型のスペースドームをつくり、県南地域の文化交流拠点とする。(7月2日付 日経)

### ● 茨城県にUターン増加

県がこのほどまとめた93年3月に大学などを卒業した県出身者の就職内定調査によると、首都圏の大学・短大・専修学校の卒業生で茨城県内に就職した「Uターン組」は71.8%で、前年の57.7%から大きく増加した。

就職先を決めた理由は全体で見ると「企業の将来性」、「希望の職種だから」、「通勤に便利」の順になっている。「故郷で生活したいから」は男子が36.5%で3位、女子は21.3%で7位になっている。(7月16日付 日経)